

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

NPO法人

# JAPAN NOW

## 観光情報協会

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙 Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第33号（北海道特集）

発行日2005年11月08日

### Contents

JN北海道支部設立と講演会

JN協会4年間の歩み ①

JN協会4年間の歩み ②

北海道知事挨拶要旨

1  
2  
3  
4



雪に映え詩情を誘う  
札幌・夜の時計台

### 巻頭言

## フォーラム「21世紀は大北海道圏の時代」を札幌で開催 JN協会北海道支部設立総会の記念行事として

### 全国7つ目の北海道支部が誕生

支部長に坂本眞一氏 JR北海道会長が就任へ

全国展開を進めている JAPAN NOW 観光情報協会（東京・松尾道彦理事長）は、7番目の支部を札幌市に開設する。11月8日午後3時から、北海道観光連盟（会長・我孫子健一元北海道副知事）との共催で、札幌市の「ホテル・ライフォート札幌」において、約300人が出席して支部設立総会及び記念フォーラム「21世紀は大北海道圏の時代」（観光立国フォーラム in 札幌）を開く。

北海道新聞社が後援する。



支部総会では松尾理事長、我孫子会長の主催者挨拶のあと、支部長に JR北海道会長の坂本眞一氏＝写真）が就任し、挨拶する。来賓として北海道知事の高橋はるみ氏らが挨拶する。

### 東北・四国・中国にも支部を開設へ 各地でイベントを計画、日伊交流も

JAPAN NOW 観光情報協会は、来年4月以降の活動計画として東北（仙台）・四国（高松）・中国（広島）支部を開設して、全国展開を進める予定である。

中部・北陸支部の合同イベントは、来年2月に開くイタリアのトリノでの冬季五輪のあと同市市長を日本に招き、松原・名古屋市長、山出・金沢市長らによる日伊国際交流フォーラムを計画。

### 4人の講師が経済再生・都市景観・観光立国と 新千歳空港の整備・新幹線の早期開業で提言へ 北海道支部設立記念フォーラムで

支部設立総会のあと午後3時30分からフォーラムに移り、電通顧問の福川伸次氏（元通産事務次官＝写真）が「北海道経済の再生と観光」をテーマに基調講演を行う。続いて照明デザイナーの石井幹子氏が「環境に優しい都市景観」、さらに国土交通省の柴田耕介・総合観光政策審議官が「観光立国と新千歳空港の整備」、鉄道運輸機構の菊池一成・北海道新幹線建設局長が「新幹線の課題と展望」について現状を分析し、提言する。



このあと、JN協会の名誉顧問である松山善三氏（映画監督）が寄せたメッセージを披露する。メッセージでは「北海道支部が設立され、観光に価する市町村の街起こしにも弾みがつくでしょう。外国人観光客誘致のため、北海道開拓の祖とされる依田勉三、伊能忠敬、間宮林蔵、松浦武四郎の業績をたたえるミュージカルとか演劇を札幌で公開し、日本の若者や北海道を訪れる外国人観光客に披露してはどうか。外国人客との交流促進には「（北海道の魅力である）冬季イベントは雪のすべて、夏季は農業・林業のすべてを提供することが必要だ」との観光振興策を提言する。

松山監督は最近、過酷な北の原野に新天地を求め開拓に挑んだ依田勉三の青春を描いた映画『新しい風』を製作しており、12月に全国公開される。

## JN協会4年の歩み①

2001年4月発足したJAPAN NOW観光情報協会は、5年目に入り順調に活動を展開しています。  
第4回通常会員総会にあたり、これまでの歩みを振り返ってみます。

### JN協会の活動目的

21世紀は世界的な観光交流が拡大し、「観光の世紀」と言われています。政府も官民一体で振興に取り組んでいます。JAPAN NOW観光情報協会は平成13年4月に「都市再生・観光振興・環境保全」を目的としたNPO法人として石原・東京都知事から認証され、活動しています。日本が観光立国として発展するためには、従来の観光振興だけでは限界があり都市の再生、活性化による地域経済の振興や環境保全が必要です。

当協会はこうした理念のもと、市民レベルの「第三の社会セクター」(NPO)の立場から既存の「第一の社会セクター」(国、自治体など公的機関)や観光、鉄道、航空、電力、ゼネコンなどの「第二の社会セクター」(営利法人)が発信する都市再生・観光・環境保全情報の補完に取り組み「賢い旅行者・消費者」の育成に務め、国や地方自治体、経済団体への提言も行い、成果をあげています。

### JN支部の設立

- ・新宿支部(2001年4月、片山文彦・花園神社宮司が支部長)
- ・北陸支部(2002年10月、水野卓哉・北陸鉄道会長が支部長)
- ・立教支部(2003年12月、支部長は学生会員の持ち回り)
- ・九州支部(2004年3月、長尾亜夫・西日本鉄道社長が支部長)
- ・中部支部(2004年7月、須田寛・JR東海会長＝当時＝が支部長)
- ・神戸支部(2005年3月、岩田弘三・神戸商工会議所副会頭が支部長)
- ・北海道支部(2005年11月8日、札幌市で設立を予定。(支部長にJR北海道会長の坂本眞一氏が就任予定)



写真上(発足メンバー) 下は(神戸支部発足総会)

### JN協会の活動実績(講演会)

第1回:「国際観光を楽しむ」 平成13年10月22日(月) 基調講演:向山秀昭氏(国際観光振興会長)

第2回:「都市の活性化と国際観光」 平成14年1月31日(木)

講演者:須田寛氏(東海旅客鉄道会長)、カトリック・オーデン氏(フランス政府観光局長)

第3回:「都市の交流と国際観光」 平成14年5月21日(火) 講演者:羽生次郎氏(国土交通省国土交通審議官)

第4回:「北陸新幹線と地域振興」 平成14年10月15日(水) 講演者:羽生次郎氏(国土交通省国土交通審議官)

第5回:「内外経済事情」 平成14年11月21日(月) 講演者:渡辺 修氏(日本貿易振興会理事長)

第6回:「激動する航空業界の現状と今後」 平成15年5月30日(木) 講演者:野村吉三郎氏(全日本空輸会長)

第7回:「江戸文化と大道芸」 平成15年 8月10日(月) 於:新宿・花園神社 シンポジウムのパネリスト:

片山文彦氏(JN協会新宿支部長)4名。

第8回:「観光立国と箱根の魅力」 平成15年9月4日(木) 基調講演者:中村徹氏(日本観光協会会長)。

討論者:山口昇士(箱根町長)、金澤悟(国土交通省観光部長)、福川伸次(電通顧問)の各氏。

第9回:「九州新幹線の開業に向けて」

平成16年3月1日(月) 於:ホテル日航福岡 講演者:高山博文氏(鉄道運輸機構九州新幹線建設局長)

第10回:「日本経済の再生と観光立国」 平成16年5月27日(木) 講演者:福川伸次氏(元通産事務次官)

第11回:「中部国際空港の開港と観光交流」および「愛・地球博の成功を目指して」

平成16年7月15日(木) 於:名古屋市 講演者:平野幸久氏(中部国際空港会社社長)、中村利雄氏(万博協会事務総長)

第12回:「観光立国と国の安全」 平成16年12月16日(木) 講演者:国松孝次氏(元警察庁長官、前スイス大使)

第13回:「21世紀は名古屋圏の時代」 平成17年1月25日(火) 於名古屋市・銀行協会ホール

基調講演:福川伸次氏

パネラー:奥野信宏、安原敬裕、須田寛、水尾衣里の各氏

第14回:「サッカーと観光立国」 平成17年5月24日 講演者:鈴木昌・Jリーグチェアマン(JN通常会員総会のあと) 於ホテルKKR

第15回:「大九州圏観光フォーラム2005」平成17年9月21日(水)。福岡市の西鉄グランドホテルで。渡辺修・ジェトロ理事長ら5人講師

第16回:「21世紀は大北海道圏の時代」平成17年11月08日(火)＝予定。講師:電通顧問の福川伸次氏(元通産事務次官)、

照明デザイナーの石井幹子氏、国土交通省総合観光政策審議官の柴田耕介氏ら4人。



## JN協会4年の歩み②

### JN協会の活動実績（見学会）

第1回： 山梨県都留市の山梨リニア実験センター 平成13年11月8日（木）。  
JRマグレブ・リニアカーの試乗会。丹羽理事長以下15名が参加、  
時速450キロを体験。

第2回： 東京電力柏崎刈羽原発など。 平成14年8月24日（土）、25日（日）  
参加者25名。協力：原子力発電技術機構

第3回：石川県・能登空港 平成15年7月8日（火）  
7月7日開港した能登空港見学。丹羽理事長、水野・北陸支部長ら  
10名が参加。

第4回：都留市リニア実験センター 平成15年10月8日（水）  
松尾副理事長や電力、ゼネコン、鉄道などの団体会員ら30名参加。  
時速500キロを体験。

第5回：横浜市みなとみらい線 平成16年1月21日（水）  
2月1日開業を前に、丹羽理事長、松尾副理事長ら30名が参加。

第6回：九州新幹線（鹿児島中央駅～新八代駅） 平成16年3月1日（月）  
3月13日の開業を前に、丹羽理事長、松尾副理事長ら20名が試  
乗会に参加。

第7回：開港前の中部国際空港 平成16年7月15日（木）。  
松尾理事長ら約20名が参加。

第8回：建設が進む神戸空港 平成17年3月17日、松尾理事長ら20名が参加。

第9回：開業前の「つくばエクスプレス」試乗会。平成17年7月27日、11名参加。



リニア実験線



開港前の中部空港管制塔で

### JN協会の活動実績（イベント）

【大道芸シンポ】 2003年8月10日午後5時30分から、江戸開府400年事業に協賛し「市民 手づくりの江戸東京 まつり」を、東京・新宿の花園神社で開催。源吾朗さんの大道芸披露、今村昌平監督の映画「ええじゃないか」のさわりを上映、それにまつわる大道芸についてシンポジウムを落語家・古今亭菊輔さんが司会。100人が参加し江戸情緒を楽しんだ。

なお8日には、ロボット博士で有名な橋本周司・早稲田大学教授の講演「ロボットが宗教を変えられるか」が行なわれた。主催は花園神社。

【国際交流】 2004年10月23日、JN協会と富山県新湊市がイタリアのティボリ市長と助役招待、新湊市での「新湊産業海鮮まつり」に参加、保育園児らに迎えらる。真ん中では新湊市長。



2004年10月25日、東京・プレスセンターで「ティボリと新湊の挑戦」と題する国際観光シンポジウムを開催した。マルコ・ヴィンチェツィ・ティボリ市長、分家・新湊市長、須田・JN協会副理事長、鷲頭・国交省観光審議官、大島悦子の各氏が「イタリアの世界遺産都市と観光立国の街づくり」について討論。参加者約150人。

平成18年はじめ、イタリア・トリノの市長との交流を予定。

### JN協会の活動実績（研究会）

国土交通、旅行、エネルギー問題、都市再生、環境の5研究会を開設。副理事長を座長とし研究活動を実施。

(1)「観光の価値・評価」の研究会 2002年1月25日～2002年11月20日まで9回。(2)「旅と危機管理」セミナー 2003～2004年末で9回。最終回は2004年12月16日、国松孝次元警察庁長官を迎え「観光立国と国の安全」という題で、講演。(3)「観光立国セミナー」 2004年～2005年実施中。会員だけでなく、関心のある方の参加を歓迎。いずれも、製本しJN協会に保存。会員企業、個人会員の閲覧は御自由どうぞ。

### JN協会の活動実績（提言）

JN協会は提言も積極的に行っている。平成14年7月リニア中央新幹線の実用化について小泉首相に提言した。丹羽理事長（当時）は、平成15年1月東京駅周辺に「観光総合案内センター」の開設を、平成15年10月には「江戸城再建」を提言し、話題となった。今後とも研究会活動の成果を踏まえ、積極的に「観光立国」等に関する提言を行う予定である。

## 首都圏、東アジアヘトップセールス 新幹線着工、知床の世界遺産は追い風 高橋はるみ北海道知事挨拶の要旨



国内経済は概して回復基調にある一方、北海道は依然として厳しい環境にあるなかで、道としては優位性のある分野として「食」と「観光」に焦点を当て、北海道経済の再建に向け、様々な施策を展開しています。

とりわけ本道の魅力である「花」、「食」、「体験観光」をリンクさせるとともに受入体制の整備を進め、北海道観光の魅力アップを目指しています。同時に、私自身が首都圏をはじめ、東アジア地域などの海外においても直接トップセールスを行うなどして、北海道へより多くの観光客に来ていただくよう、働きかけをしているところです。

そうした取り組みの一環として、平成18年度は全国JRグループ6社の協力を得て、「はなたび北海道」のキャッチフレーズで、「花」をメインテーマとした「北海道デスティネーション・キャンペーン」を予定しており今年度は6月～9月11日までプレ・キャンペーンを実施しました。

本年5月には、永年の念願であった北海道新幹線が、着工することができました。経済発展に大きな効果をもたらすとともに、観光客の誘致にもプラスになることと確信しております。

また、本年7月には、知床が日本で3番目の世界自然遺産に登録されるなど、記念すべき年でもあり、道と致しましては、引き続き、北海道の様々な魅力を大いに引き出しながら、観光の一層の充実に取り組んで参ります。

本日のJN協会北海道支部の設立を期に、北海道の観光産業がリーディング産業として更に発展することを期待し、私からの挨拶といたします。

### 会員名簿

**名誉顧問**：松山善三(映画監督)

**理事長**：松尾道彦(日本海事財団会長、前日本鉄道建設公団総裁)

**顧問**：丹羽晟(前理事長、日本空港ビルデング相談役)

**副理事長**：白澤照雄(JN協会事務局長)、岡村進(小田急電鉄顧問)、橋元雅司(元国鉄副総裁)、橋爪孝之(株JALUX相談役)、大島慎子(ドイツワイン基金駐日代表)、小竹直隆(元JTB専務)、須田寛(東海旅客鉄道相談役)

**支部長**：片山文彦(新宿支部)、水野卓哉(北陸支部)、田久保万里夫(立教支部)、長尾垂夫(九州支部)、須田寛(中部支部)、岩田弘三(神戸支部)

### 【団体会員】(2005年11月08日現在)

(株)朝日ネット、(株)アドバン、荒井建設(株)、アンデス電気(株)、安藤建設(株)、池田煖房工業(株)、(株)伊勢丹、岩田建設(株)、(株)エスシー・マシーナリ、(株)大林組、隠岐の島町(島根県)、(株)奥村組、小田急建設(株)、小田急電鉄(株)、(株)小田急トラベル、鹿島建設(株)、鹿島道路(株)東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、関西電力(株)、九城企業(株)、(株)九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)熊谷組、(株)グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、国光施設工業(株)、佐川サポートサービス(株)、三協アルミニウム工業(株)、(株)三普旅行社、清水建設(株)、(株)ジャルセールス、(株)JAL-DFS、(株)JALUX、(株)JTB、(株)ジェイアール貨物・リサーチセンター、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、常磐興産ピーシー(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、静和堂竹内印刷(株)銭高組、全日本空輸(株)、総合パーキング建設(株)、第一交通産業(株)、(株)大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)、大成サービス(株)、大成設備(株)、大成ユーレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、(株)丹青社、中部電力(株)、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東京電力(株)、東光電気工事(株)、東芝エレベータ(株)、東北電力(株)、トーヨーカネツソリューションズ(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、(株)日本海コンサルタント日本空港ビルデング(株)、(株)日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、ネスレジャパングループ、箱根町(神奈川県)、箱根建設(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立ビルシステム、(株)ビッグウイング、福岡空港ビルディング(株)、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士通(株)、プラネットワークス(株)、北海道電力(株)、北海道旅客鉄道(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、(株)ホテル小田急、(株)ホテルメトロポリタン、前田建設工業(株)、ホテルマリックス、マイナミホールディングス(株)、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)ミルックス、(学)森谷学園、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、(株)USEN、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設(株)

**トピック：北海道電力(株)が団体会員に！ 会員のネスレジャパングループから、引き続き緑茶の差し入れ。感謝**

特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

# JAPAN NOW

## 観光情報協会

東京都渋谷区代々木1-58-13

小田急代々木ビル3F

電話 03(5304)9500

FAX 03(5304)5632

E-mail info@japannow.org

Home page http://www.japannow.org

発行人：白澤照雄(JN協会事務局長)

編集長：加納 隆(JN協会理事)

発行部数：3000部 主な配布先：会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど